

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月23日

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C		
横断的な課題	リニア中央新幹線の開業を見据えた地域づくり						
地域重点政策	二つのアルプスを活かした交流圏域づくり					南信州地域振興局	
実施機関	上伊那地域振興局・南信州地域振興局・木曽地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	令和4年度 リニア3地域(上伊那・南信州・木曽)の広域観光推進事業				電話	0265-53-0431	
				E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	3地域(上伊那・南信州・木曽地域)連携による観光誘客に向けた具体的な取組の推進					
	現状と課題	<p>リニア中央新幹線及び三遠南信自動車道の開通を見据え、上伊那・南信州・木曽地域の観光事業者と地域振興局が連携し、リニアバレー構想に基づく周遊滞在型観光コンテンツの作成や受入れ環境整備など具体的な事業に取組む必要がある。</p> <p>一方、現状は3地域観光事業者等による連携体制の構築に至っておらず、県には、3地域連携による広域観光を推進するため、実証を通じた具体的な検討や取組が求められている。</p> <p>令和3年度は、地域振興推進費事業を通じ、地域連携DMO(観光地域づくり法人)を中心として3地域観光関係者の検討組織が立ち上げられ、地域間相互の観光コンテンツの調査研究や、中京圏の旅行業社及びメディア関係者を招請したファミトリップ実施など、3地域連携による観光誘客の足場づくりの年となった。</p> <p>今後は、こうした取組を継続させ、誘客に結びつかせるため、旅行商品の実売など出口を見据えたより具体的な検討を行う必要がある。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>○周遊モデルコースの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア長野県駅(飯田市)及び岐阜県駅(中津川市)を起点終点とした周遊モデルコースを5本以上検討する。 ・コース毎に効果的なコンテンツを選定するとともに、各コースのストーリー、ターゲット層、対象地域、移動手段、販売単価、誘客手法、成果指標についても検討し設定する。 ・観光トレンド等マーケティング情報、3地域観光資源分析結果(令和2年度推進費事業)、広域周遊観光にかかる他地域の動向、先進事例分析結果等を活用し、競合他地域との差別化やストーリー化を行う。 ・モデルコース実売に向けた地域間事業者間のマネジメント体制検討及び課題の洗い出しを行う。 ・旅行商品販売事業者など外部有識者を招請し、地域が売りたい観光資源のみならず、消費者や旅行事業者の視点も取り込みながら事業を実施する。 					
事業期間	令和4年6月			～	令和5年3月		
費事業等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	3地域広域観光推進事業	3地域周遊滞在モデルコース検討	961,400	南信州地域振興局分			
	合計		961,400				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	周遊滞在モデルコース		5本	10本	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>上伊那・南信州・木曽のDMO、観光関係者及び有識者(旅行事業者及び観光機構)を招請し、令和4年7月から令和5年3月にかけて、計8回の検討会を実施した。</p> <p>旅行市場をめぐる動向や実際に商品を販売している旅行事業者の視点について有識者の講演を聞き、参加者の認識を共有したうえでコース設定にかかる諸要素の検討を行い、計10コースを周遊モデルコースとして設定した。</p> <p>1: 夜空と大地が織りなす絶景のなかで過ごす時間旅行、2: 護られし実りの國/南アルプスと天竜川の恵み、3-1~4: 本物のアクティビティに会いに行く、4: 日本一標高の高いホテル「ホテル千畳敷」に泊まる ゆったり千畳敷・しらび平スノーシュー、5: 登山初級 木曽駒ヶ岳登山、6-1: 木曽路中山道体感コース(サイクリングコース)、6-2: 秘境ジオサイクリング</p>						
今後の方向性	<p>上記モデルコースの活用を含め、流通環境整備やプロモーション、コンテンツのブラッシュアップや情報発信に取り組むプラットフォーム構築の必要性が課題として示された。</p> <p>今年度の検討会をベースとし、各地域のベクトル合わせを踏まえた今後の事業展開について継続して検討していく。</p>						